

## 出水市公共施設適正配置計画検討委員会議事録

会議名	第1回 出水市公共施設適正配置計画検討委員会
開催日時	平成26年8月18日 午後1時30分から午後2時15分まで
開催場所	出水市役所本庁201会議室
委員の出席状況	南委員（出席） 松岡委員（出席） 岡委員（出席） 平中委員（出席） 切通委員（出席） 肱岡委員（出席） 特手委員（出席） 田上委員（出席） 岩下委員（出席） 大園委員（出席） 濱島委員（出席） 澤田委員（欠席） 古市委員（出席） 税所委員（出席） 上垣委員（出席）

### ◆ 会次第及び会議要旨

事務局	<b>1 開会</b>
市長	<b>2 委嘱状交付</b> 市長から出席委員14人へ委嘱状交付。
市長	<b>3 市長あいさつ</b> 市長あいさつ
事務局	<b>4 委員紹介</b> 資料「出水市公共施設適正配置計画検討委員会委員名簿」をもとに委員を紹介。
事務局	<b>5 委員長及び副委員長選出</b> 事務局からの提案に対して、委員より「異議なし」の声があり、南委員を委員長、切通委員を副委員長とすることを決定。
委員長	<b>6 委員長あいさつ</b> (委員長が議長を行うことから議長席へ移動) (委員長あいさつ)  (自己紹介) 横浜市役所職員として23年間勤務し、2000年から大学教授として勤務しはじめ、現在東洋大学客員教授として、地方行財政論を担当している。  (検討委員会について) 7、8年前から、高度経済成長期に建てた建物が一斉に老朽化していることについて総

務省の研究会で検討をはじめた。そのうち、施設白書をつくる団体がでてきて、まとめてみたら、施設はものすごく数が多く、全部が一斉に老朽化していることがわかった。建物を全部建て替えるにはどのくらいお金が必要か試算をしてみたら、どの自治体も財政破たんしてしまうということがわかった。

施設だけではなく、上下水道、道路、橋、といういわゆるインフラの老朽化も一斉に進んでいる。現在、日本の最大の課題のひとつとしてとりあげられているのは、公共施設、それからインフラである道路、橋、上下水道である。

中央道笹子トンネルの天井板落下事故、東日本大震災、九段会館という施設での天井崩落事故など、公共施設をこのままにしていくと、何人もの方が亡くなったり、けがをしたりということにもつながるし、ちょっとした地震、水害で施設がくずれてしまうということになりかねない。対策にはお金が必要だが、お金がどの自治体も全くない状況で、さらに国も一千兆円を超える借金をしており、国の支援も見込めない状況。

ではどう対応するかというと、施設の面積を圧縮していかなければならない。今まで10あった施設を7、8つにまとめて複数の機能をもつようにしていくというようなことをやらなくてはいけない。代表的なものが、公民館、集会所など。

施設を一体化するということには役所の縦割り構造の関係で難しいことがあるし、車で5分くらいのところの施設をまとめようとしたときには必ず、使っている人たちが反対するなどさまざまな圧力がうまれるというのが現状。とくに合併した市町村は、地区の特性があり、地区をまたいで、施設の合築・集約ということに非常に抵抗が大きい。それから、合併の時に約束した施設があるということだが、その施設を建ててしまうと財政的には破綻してしまう、というようなこともある。そのあたりで、(今回の検討委員会)非常に難しい仕事になるだろう。

出水市は、全国にさきがけて、半年から一年早くこの問題に注目して委員会を立ち上げたので、前にすすむ可能性がある。総務省が今年4月に、こういう問題があるという方針を全国に出した。私のもとにも毎週1、2件問い合わせがある。今から着手しようというところは、人間的にも、お金でも、資料作成でも間に合わない状態。そういった意味では、出水市が一步、半歩早く着手できたことは、全国的にも先進的な取り組みができる可能性があるのではないかと思う。

全国のいろんな事例も参考にお伝えしながら、多少の痛みは出てくることは確実だが、できる限りみなさんの合意を得られる再配置の計画ができればと思うので協力をお願いしたい。

初めから厳しい話で恐縮だが、この話ばかりはバラ色の話にするわけにはいかない課題であるため、厳しい中でも少しでも明るい話題をつくりながら施設の再配置について考えてすすめていきたい。

## 7 諮問

市長

市長が諮問書を読み上げ、委員長に対し諮問。

諮問内容「出水市公共施設適正配置計画の策定に関すること」

(市長は、他の公務のため退席)

	<p><b>8 説明</b></p>
事務局	<p>(1) 公共施設適正配置計画検討委員会の会議運営方法等について (事務局より資料(3～5ページ)に基づいて説明)</p>
委員	<p>ア会議の公開について、市民への周知方法はどのように行われるのか。</p>
事務局	<p>出水市ホームページおよび市の防災無線で周知することとする。</p>
	<p>(2) 公共施設適正配置計画検討委員会のスケジュールについて (事務局より資料(6～7ページ)に基づいて説明)</p>
委員	<p>住民アンケートについて、内容、対象者などについて説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>期間 7月31日郵送→今週(8月22日)が締切 対象者数 2,100人(10代から70代の方から無作為抽出) 内容・・・年代、お住まいの地区など基本的なもの 公共施設の利用頻度 マネジメント事業等に対する意見</p>
委員	<p>平成26年11月に実施する住民説明会について、全地域におふれを出して、どこかで集まってやるということか。</p>
事務局	<p>市内で5か所ほどの開催を検討中であるが、場所、日時は検討中。事前に市民の方へ開催のお知らせをする。</p>
委員	<p>公共施設の適正配置計画について、この委員会において決定までいくということだが、今ある公共施設を全て維持更新していくと財源面で社会保障・福祉などのサービスの制限などの影響が出てくるとの話があったと思うが、それらの影響を回避するためどのような取組が必要なのか。</p>
委員	<p>施設白書のP20,21をみると、地区別、カテゴリ別にこれだけの施設があり、全国的にみると数が多いというのが実情。今の財政状況の中、税収の推移、人口減少がすすむと、今の施設の3割以上は圧縮しないと財政がもたないだろう、というのが全国一般的なところである。</p> <p>ということは、まずは公共施設の面積を減らさないといけない。面積を減らさないとうなるか。限られた財源の中で、全ての公共施設の建て替えや維持管理経費に財源を充てた場合介護保険、国民健康保険など、さまざまな行政サービスにまわすお金がなくなる。医療、福祉や教育、災害などに財源を優先して使っていくと、施設を建て替えるお金がなくなる。これ以上借金もできない。</p> <p>ではどうするのかというと、介護保険、国民健康保険など社会保障・福祉サービスの経費を削減することはできないので、公共施設の面積を圧縮するしかない。</p>

財政破たんした夕張市の例  
10万人の炭鉱の町→1万人  
市の職員が半分に  
市の職員の給料3割カット  
施設の利用料は2倍、3倍→さらに利用が少なくなる  
小学校は統合される  
病院は診療所に格下げ、十分な医療が提供できなくなる  
上下水道料金2倍、3倍

国も県も支援するお金がない状況であることから、公共施設を統廃合するなどの取組についても少しでも痛みを少なくしながら、サービスを低下させないためにはどうすればいいか、知恵を出し合う必要がある。

委員 この内容を市民の皆様にも、広報などで周知していただきたい。

事務局 市民の皆様にも、お伝えし理解をしていただきたいと考え、広報紙8月号から連載で公共施設マネジメントの特集を組むことにしている。

(スケジュールについての決定)

委員長 第2回 10月2日(木) 10:00～12:00

第3回 11月6日(木) 10:00～12:00

## 9 その他

事務局 職員の紹介および支援企業の紹介  
引き続き実施される、講演会についての説明

終了